



株式会社ノリタケカンパニーリミテド 平成30年3月期 決算説明会

代表取締役社長

小倉 忠

代表取締役副社長 経営管理本部長

加藤 博

*本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化などによって、計画と異なる可能性があることにご留意ください。

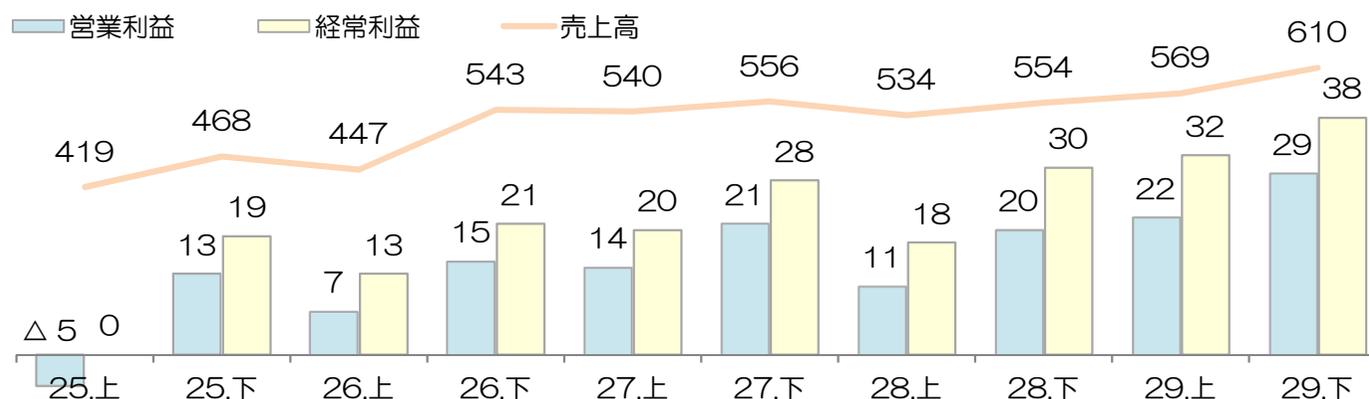
1. 平成30年3月期 連結決算の概要
2. 平成31年3月期 業績予想及び重点施策

平成30年3月期の連結業績

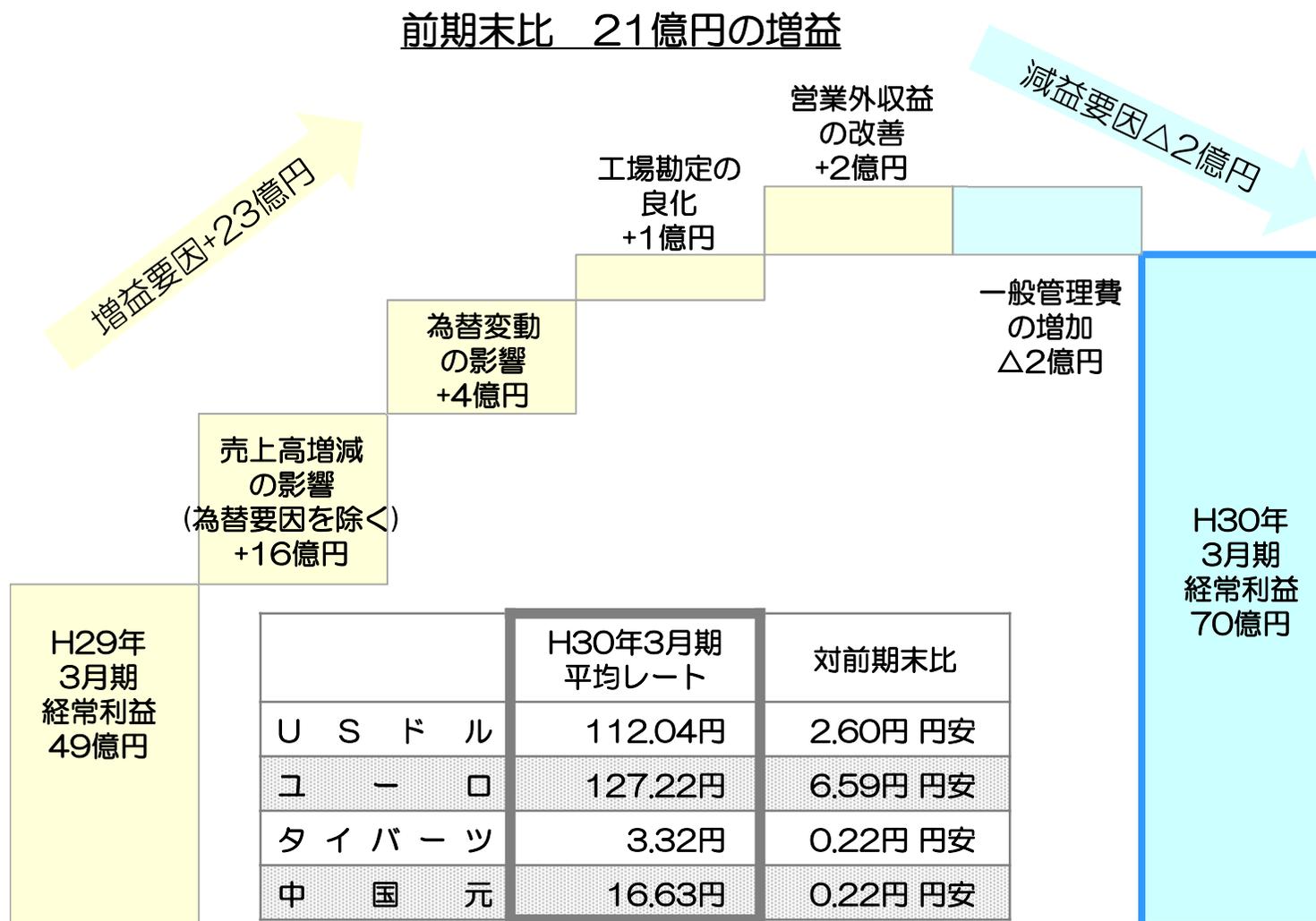
Noritake

(単位：億円)	H29年3月期	H30年3月期	対前期末比
売上高	1,088	1,179	8.4%
営業利益	31	51	63.4%
経常利益	49	70	43.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	41	134	227.0%

- 売上高に係る為替影響額：+10億円
- 連結子会社の異動：連結子会社数22社(1社減少) 持分法適用4社(変更なし)
- 期末配当金：40円/株 (年間70円/株) (前期年間60円/株)



経常利益の変動要因



特別損益

Noritake

特別利益（単位：億円）	H29年3月期	H30年3月期
固定資産売却益	0.2	106.2
投資有価証券売却益	7.7	1.6
合計	7.8	107.8

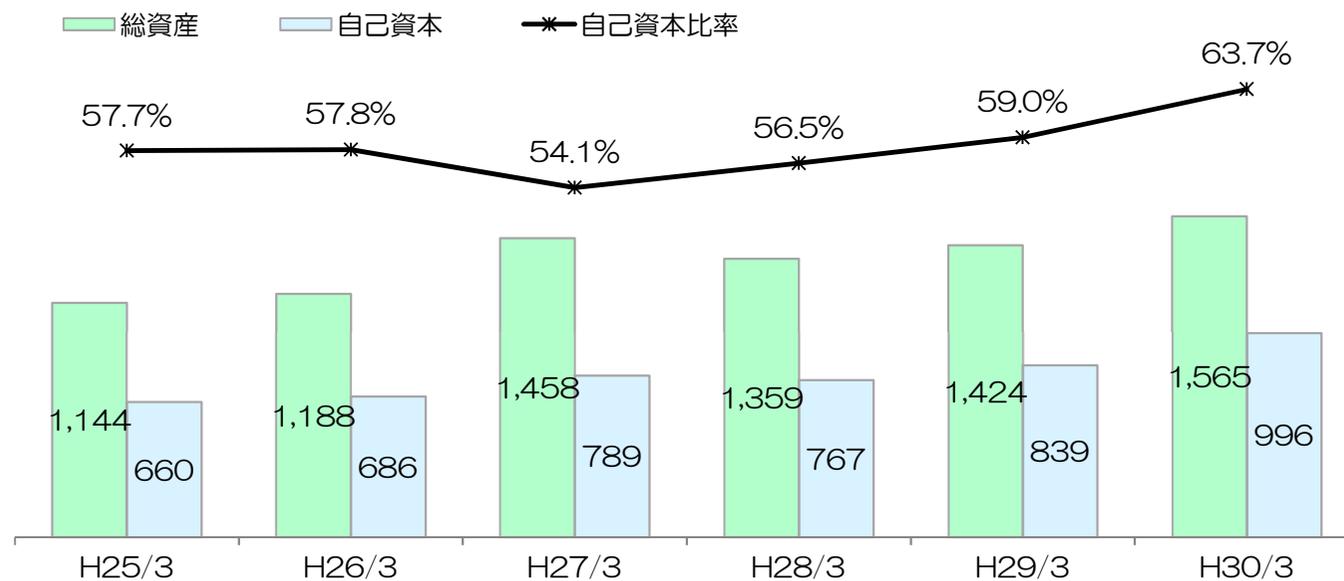
特別損失（単位：億円）	H29年3月期	H30年3月期
固定資産処分損	3.0	7.4
減損損失	-	8.4
その他	0.8	-
合計	3.8	15.8

連結貸借対照表

(単位：億円)	H29年3月期	H30年3月期	対前期末比
総資産	1,424	1,565	+141
自己資本	839	996	+157
1株当り純資産	5,847円	6,941円	+1,094円
自己資本比率	59.0%	63.7%	+4.7%

単位：億円

総資産、自己資本及び自己資本比率の推移



連結貸借対照表

Noritake

(単位：億円)	H29年3月期	H30年3月期	対前期末比
流動資産	612	735	+123
固定資産	812	829	+18
負債	552	534	△18
株主資本	729	854	+125
包括利益累計額	110	142	+32
非支配株主持分	32	34	+2

キャッシュ・フロー

Noritake

(単位:億円)	H29年3月期	H30年3月期	対前期末比
営業活動によるCF	91	97	+6
投資活動によるCF	△25	85	+110
フリーキャッシュフロー	66	182	+116
財務活動によるCF	△60	△111	△51
現金及び同等物残高	89	161	+72

有利子負債、設備投資及び従業員数

Noritake

(単位：億円)	H29年3月期	H30年3月期	対前期末比
有利子負債	231	131	△100
現金預金	113	185	72
ネット有利子負債	119	△54	△172

(単位：億円)	H29年3月期	H30年3月期	対前期末比
設備投資	45	44	△1
減価償却費	40	40	-

(単位：人)	H29年3月期	H30年3月期	対前期末比
正規国内従業員計	2,977	2,963	△14
正規海外従業員計	2,120	2,049	△71
正規従業員合計	5,097	5,012	△85
平均臨時雇用者数	815	787	△28

事業セグメント別の概況

Noritake

事業セグメントの構成

セグメント	製品カテゴリー		
工業機材	研削砥石	日本レチボン製品	ダイヤ・CBN工具
	研磨布紙	関連商品	
セラミック・マテリアル	電子ペースト	厚膜回路基板	触媒担体
	セラミックコア	石膏	蛍光表示管
	セラミック原料	電子部材	
エンジニアリング	乾燥炉・焼成炉	混合攪拌装置	
	濾過装置	超硬丸鋸切断機	
食器	陶磁器食器	食器関連商品	装飾・美術品

事業セグメント別の概況



セグメント別売上高

(単位：億円)	H29年3月期	H30年3月期	対前期末比
工業機材	570	594	+4.2%
セラミック・マテリアル	280	317	+13.5%
エンジニアリング	146	180	+23.4%
食器	92	88	△4.8%
合計	1,088	1,179	+8.4%

単位：億円



工業機材事業

研削砥石



ダイヤ・CBN工具



日本レチボン製品



研磨布紙



関連商品



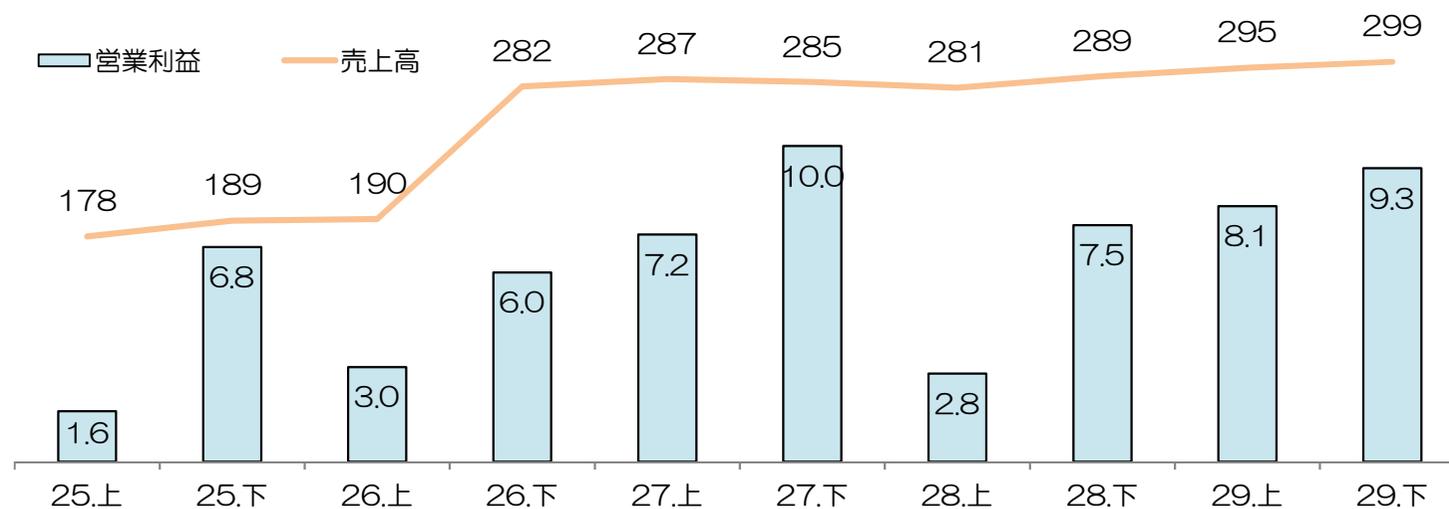
事業セグメント別の概況

工業機材事業

(単位:億円)	H29年 3月期	H30年 3月期	対前期 末比
売上高	570	594	+24
営業利益	10.3	17.4	+7.1



単位：億円



工業機材事業

製品別売上高の推移

(単位:億円)	H29年3月期	H30年3月期	対前期末比
研削砥石	153	170	+16
日本レチボン製品	184	182	△2
ダイヤ・CBN工具	125	132	+7
研磨布紙	72	72	+1
関連商品	35	37	+2
合計	570	594	+24

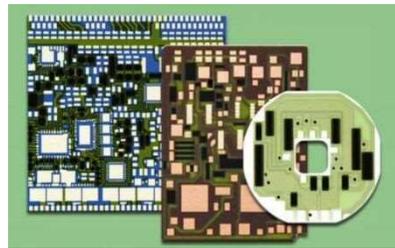
事業セグメント別の概況

セラミック・マテリアル事業

電子ペースト



厚膜回路基板



触媒担体



セラミックコア



石膏



蛍光表示管



セラミック原料・電子部材



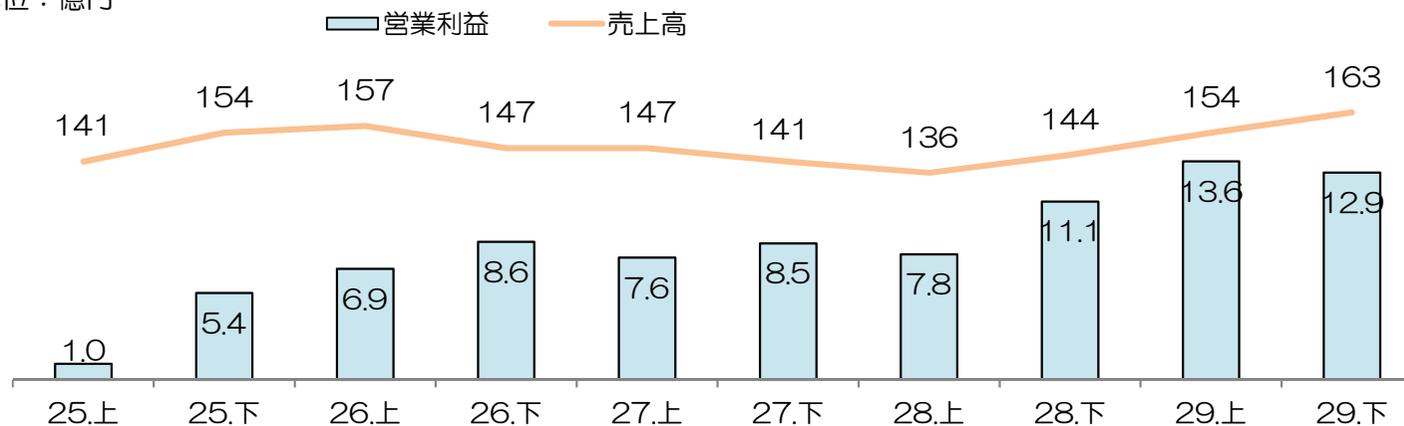
事業セグメント別の概況

セラミック・マテリアル事業

(単位:億円)	H29年 3月期	H30年 3月期	対前期 末比
売上高	280	317	+38
営業利益	18.8	26.5	+7.7



単位：億円



セラミック・マテリアル事業

製品別売上高の推移

(単位:億円)	H29年3月期	H30年3月期	対前期末比
電子ペー ス ト	50	65	+15
厚膜回路基板	24	21	△3
触媒担体・セラミックコア	19	27	+9
石 膏	27	28	+1
蛍光表示管	37	38	0
共立セラミック原料	63	69	+6
共立電子部材	60	70	+10
合 計	280	317	+38

エンジニアリング事業

焼成炉



混合攪拌装置



濾過装置



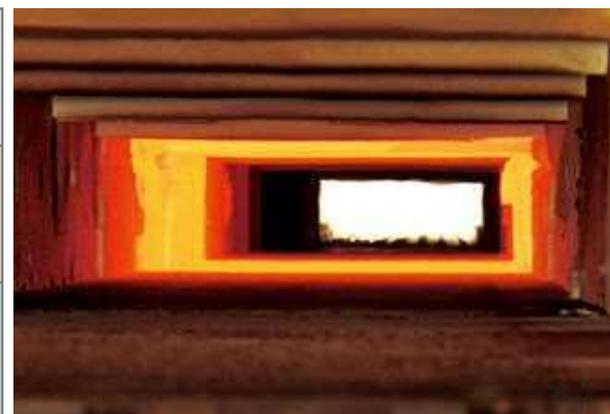
超硬丸鋸切断機



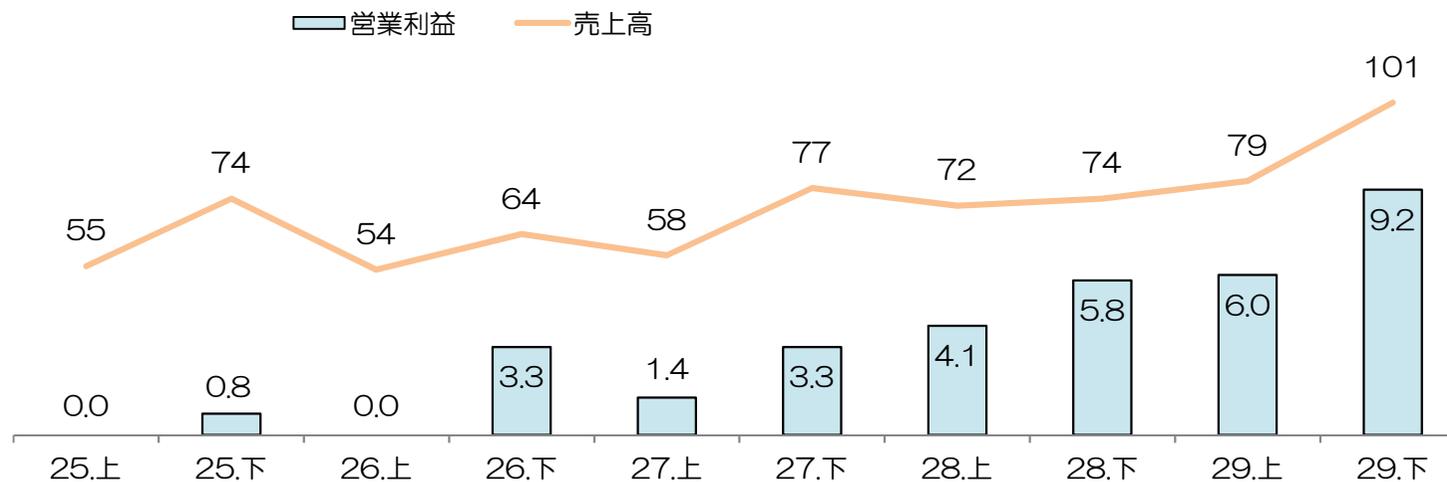
事業セグメント別の概況

エンジニアリング事業

(単位:億円)	H29年 3月期	H30年 3月期	対前期 末比
売上高	146	180	+34
営業利益	9.9	15.2	+5.3



単位：億円



エンジニアリング事業

製品別売上高の推移

(単位:億円)	H29年3月期	H30年3月期	対前期末比
乾燥炉・焼成炉	112	138	+26
混合攪拌装置	12	12	0
濾過装置	12	16	+4
超硬丸鋸切断機	9	14	+4
合計	146	180	+34

食 器 事 業

四季彩舞曲



シェールブラン



イングリッシュハーブス



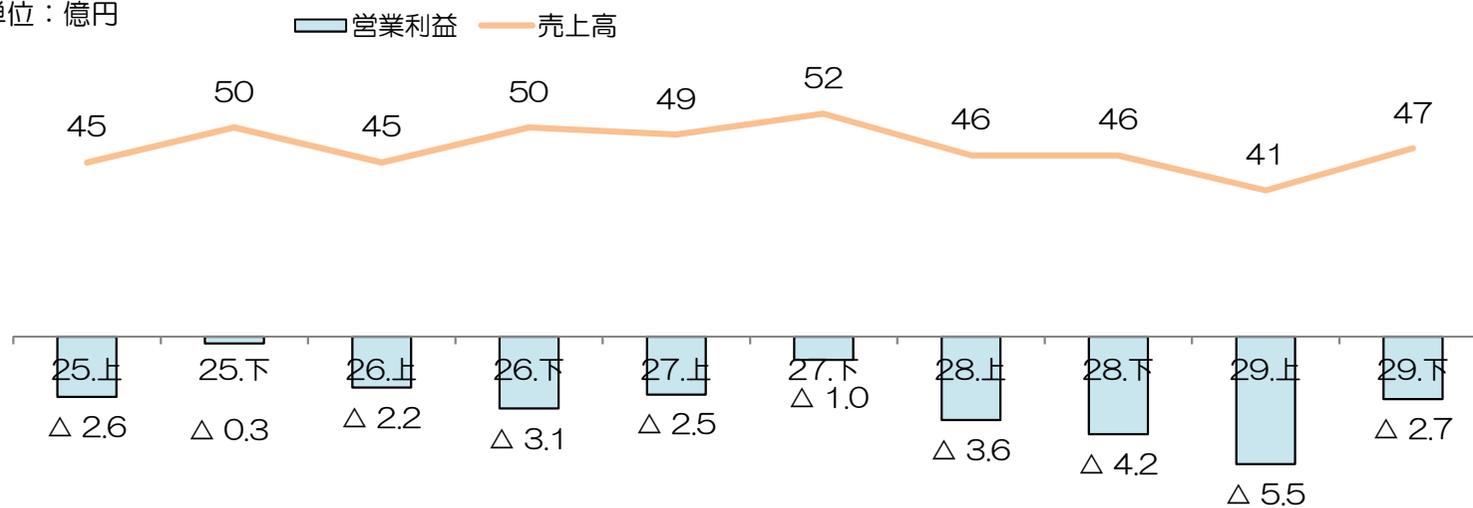
事業セグメント別の概況

食 器 事 業

(単位:億円)	H29年 3月期	H30年 3月期	対前期 末比
売 上 高	92	88	△4
営 業 利 益	△7.8	△8.2	△0.3



単位：億円



食 器 事 業

製品別売上高の推移

(単位:億円)		H29年3月期	H30年3月期	対前期末比
国	内	45	42	△3
米	州	23	22	△2
欧	亜	24	25	0
合	計	92	88	△4

海外事業比率の推移

Noritake

海外販売 (金額ベース)	H29年 3月期	H30年 3月期	H31年 3月期
	実績	実績	計画
工業機材	33%	33%	32%
セラミック・材料	50%	50%	51%
エンジニアリング	34%	33%	28%
食器	52%	53%	52%
合計	39%	39%	38%

海外事業比率の推移

Noritake

海外生産 (金額ベース)	H29年 3月期	H30年 3月期	H31年 3月期
	実績	実績	計画
工業機材	15%	16%	16%
セラミック・マテリアル	34%	37%	37%
エンジニアリング	6%	7%	8%
食器	49%	47%	51%
合計	21%	22%	22%

2. 平成31年3月期 業績予想及び重点施策

平成31年3月期 業績予想



(単位:億円)	H30年3月期			H31年3月期予想			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減
売上高	569	610	1,179	605	605	1,210	+31
営業利益	22	29	51	28	25	53	+2
経常利益	32	38	70	37	35	72	+2
特別損益	1	91	92	0	27	27	△65
税前利益	32	130	162	37	62	99	△63
純利益	25	110	134	30	48	78	△56
US\$為替	112.04円			105円			

平成31年3月期 業績予想

Noritake

売上高（億円）	H30年3月期	H31年3月期 予想		
	実績	上期	通期	増減
工業機材	594	310	625	+31
セラミック・マテリアル	317	160	325	+8
エンジニアリング	180	90	170	△10
食器	88	45	90	+2
売上高計	1,179	605	1,210	+31

営業利益（億円）	H30年3月期	H31年3月期 予想		
	実績	上期	通期	増減
工業機材	17.4	10	22	4.6
セラミック・マテリアル	26.5	15	26	△0.5
エンジニアリング	15.2	6	11	△4.2
食器	△8.2	△3	△6	+2.2
営業利益計	51.0	28	53	+2.0

第10次中期経営計画の課題及び目標

Noritake

第10次中期経営計画の対象期間：平成28年4月-平成31年3月

経営課題

急速に変化し、益々競争が激化するグローバル市場において、安定した収益と成長が期待できる事業体制、経営体制の構築を目指します。

経営目標（長期目標）

- | | |
|----------|---------|
| ① 売上伸長率 | 年率5% |
| ② 営業利益率 | 5% |
| ③ 海外販売比率 | 50% |
| ④ ROE | 5%以上 |
| ⑤ 自己資本比率 | 50%以上維持 |

第10次中期経営計画の基本戦略

基本戦略

- ①製造・販売・技術が一体となって営業活動を推進することで、シェアを拡大するとともに、新しい市場の開拓を進めます。
- ②新商品・新技術の開発によって市場競争力を高め、売上の拡大を図ります。
- ③海外生産拠点の整備と海外市場の開拓を進め、事業の拡大を図ります。
- ④経営インフラを整備し、経営体制の強化を図ります。

第10次中期経営計画の連結業績目標

単位：億円

	H28年3月期 実績	H31年3月期 目標	増減率
売上高	1,096	1,200	+9.5%
営業利益	34	45	+30.5%
経常利益	48	60	+25.5%

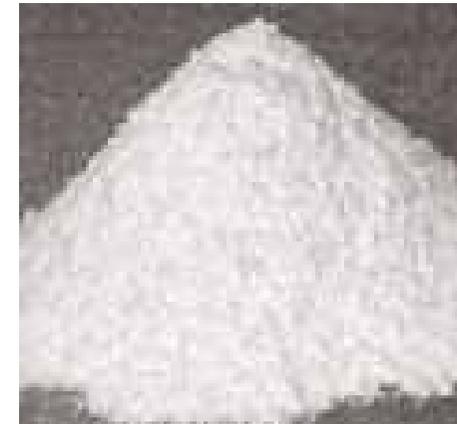
工業機材事業

- 海外工場の整備・増強、海外販売活動の強化を図り、グローバルな事業拡大を推進します。
- 差別化した新商品により成長分野でのシェア拡大を図ります。



セラミック・マテリアル事業

- 電子ペーストは、今後拡大が期待される車載分野をターゲットに、MLCC、インダクタ向け等の拡販を進めます。
- 厚膜回路基板はLED等新用途向けの生産体制の整備を進め、触媒担体は生産設備の増強と次世代の担体の開発を推進します。
- 電子部材は、生産体制の強化とMLCC用微粒子材料、燃料電池用材料等の開発に取り組みます。



エンジニアリング事業

- 乾燥炉や焼成炉は、電池材料分野や新素材分野での新商品開発を推進します。
- 混合攪拌装置及び濾過装置は新用途開拓と自動車や工作機械分野での販売活動強化を図ります。
- 超硬丸鋸切断機は新機種による市場開拓と国内外の販売力の強化を図ります。



食 器 事 業

- 国内市場では、訪日外国人の増加や2020年の東京五輪の開催で需要が拡大するホテル・レストラン市場をターゲットに、業務用食器の拡販を目指します。
- 海外市場では、米国は新商品を投入して、売上げの回復を目指します。成長が期待されるインドなどアジア市場では、営業体制を強化して、拡販に取り組みます。

